

## 『組合員セミナーの開催』

サブタイトル：改定介護保険制度はどうだったのか？  
良い点は少なく、悪い点が噴出しました

去る6月18日(日)に「組合員セミナー」と称して改定介護保険制度はどうだったのか、を検証しました。東大阪市の築山室長から行政の立場から見た改定に対する講演の後、職種別のグループ討議で「良かった点・悪かった点」を挙げて、パネルディスカッションに入りました。パネラーには職種別での代表6名とコメンテーターに築山室長・山本先生(4/23ステップアップ研修会で講演頂いた方)・NCCU本部の陶山事務局長、コーディネーター(司会)久保近畿支部長の合計10名でのパネルディスカッションでした。

各職種から見た今回の介護保険制度改定は良い点も少しありましたが、かなりの部分で問題が山積というところでした。山本先生からは「今回の改訂がご利用者にとって、どのように良かったのか？ また悪かったのか？ と云う視点も大事である」とコメントを頂き、原点を忘れてはいけないことを改めて教えて頂きました。

意見内容については整理をして、築山室長・山本先生・NCCU本部の陶山事務局長に渡しましたので、これからの取組みの素材となるようします。

【日時】 2006年6月18日(日)午後1時より午後5時終了 引き続き交流会 午後6時半終了

【場所】 大阪コロナホテル(新大阪) 【出席】 68名(他組織から1名)

【内容】

1. 開会
2. 久保 近畿支部長挨拶
3. 「介護保険制度改定について」  
講師：東大阪市 高齢介護室室長 築山 義信 様
4. 職種別グループ討議  
訪問介護A  
訪問介護B  
訪問入浴・居宅支援・福祉用具・訪問看護  
特養・老健・グループホーム・ケアハウス・通所介護  
事務員・管理者  
男性訪問介護・  
介護タクシー



《パネルディスカッションの様子》



《グループ討議の様子》

5. パネルディスカッション  
改定介護保険制度はどうだったのか？

6. 閉会
7. 交流会

### 【主な意見内容】

『良かった点』(大変少ないです)

老健の特養化に歯止め。(家族に対しても説明できる。)  
ケアプランの持ち件数が減り、担当者会議等がしやすくなった。

『悪かった点』(一杯ありました)

スタートから皆が理解度低かったので、進行しづらかった。  
地域包括支援センターとのすり合わせが課題  
4月から保険料が上がり問題になり、利用者の負担が増えている。  
福祉用具は「本当に」必要な方が借りられない状態  
制度改正に現場が追いつかない。(予防ばかりを受け入れできない)  
利用者への行政の説明不足  
グループホームの入居条件が変わった。他多々